

令和 6 年度第 4 回名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会 会議録

1 日時 令和 7 年 1 月 27 日（月）午後 2 時～午後 3 時

2 場所 名古屋市公館 大会議室

3 出席者 審議会委員 土屋 武志 会長
津金 美智子 委員
山本 秀雄 委員
中田 俊夫 委員
尾関 利昌 委員
田添 千裕 委員
梶野 渚 委員
瀬瀬 みどり 委員
加藤 雅士 委員
事務局 総務部長はじめ 11 名

4 傍聴者数 6 名

5 議題

- ・柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合に関する個別プランについて（公開）
- ・その他

6 議事

No. 1

発言者	発言
事務局	お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただいまより、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会を開催いたします。私は進行役を務めさせていただきます教育委員会事務局教育環境整備課長の鈴木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 本日は、全委員の 11 名中 9 名出席していただいております、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会条例第 7 条第 2 項により、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。 開会にあたり 3 点ご案内を申し上げます。 1 点目は、ご発言される際のお願いについてです。机上に有線マイクまたは無線マイクを置かせていただいております。お一人ずつマイクをご用意できていないため、恐れ入りますが、ご発言の際にはお二人または三人の方でマイクをお使いいただきますよう、お願いいたします。2 点目は災害が発生した時の対応についてです。万一災害が起きた場合の対応ですが、入室された出入口から職員の指示に従って避難していただき

発言者	発 言
総務部長 事務局 会長 事務局 会長 委員	ますようお願いいたします。 3点目は会議の公開についてでございます。本審議会は、名古屋市情報公開条例第36条の規定により、公開が原則となっております。そのため、非公開情報を審議する場合などを除き、公開とさせていただくことをご了承いただきたく存じます。 本日の傍聴者は6名です。傍聴される方をお願いいたします。名古屋市子どもいきいき学校づくり審議会の会議の傍聴要項の規定により、傍聴者は静粛を旨として、配付した資料「傍聴者の方に」に記載のある、会議場における言論に対して拍手その他の手法により公然と可否を表明しないことや、会場内では、写真、ビデオ等の撮影、録音等を行わないこと等を遵守していただき、円滑な議事運営にご協力ください。 それでは開会いたします。初めに、総務部長の木村よりごあいさつを申し上げます。 (あいさつ) それでは、本日の審議会の資料の確認をさせていただきます。 (資料確認) これより先は、土屋会長に議事進行をお願いいたしたく存じます。 それでは本日の審議に入らせていただきます。本日は請問がありませんので、このまま審議に入らせていただきます。次第1「柴田小学校と千鳥小学校及び白水小学校の統合に関する個別プラン」について、事務局から説明をお願いいたします。 (説明) ありがとうございました。 前回の第3回審議会での議論を踏まえ、教育委員会より資料が示されました。この資料や、地域からのご要望、ご意見等につきまして、議論を深められたらと思います。 それでは、委員の皆様からご質問、ご意見があれば、どうぞよろしくお願い申し上げます。確認でも構いませんので、ご質問あればよろしくお願い申し上げます。 先ほど説明を様々聞かせていただきまして、説明の中にも統合に関して、保護者が自分事として捉えるというところに課題があるとの説明だったかと思います。それに関して、周知をしていくことに工夫を今後し

発言者	発 言
	ていただけると理解をしましたが、私、教員の立場としては、子ども達が、統合に進むとなった時に、新しい学校とか、新しい友達と出会う事とか、そういったことに不安を覚えることが出てくるのかなと思います。そういった時に、不安なく安心して通えるようにしていただけるとありがたいと思います。やはり子ども達、保護者の方もいざ自分が当事者になった時には、必ず自分事として捉えるタイミングがくるとは思います。そういった時に不安が当然出てくるとは思います。不安が先にくるのではなくて、その時に子ども自身が新しい学校に通いたいとか、こういった学校なら通わせたいと思うように、丁寧に説明していくことも大事なのかなと思います。ですので、様々地域の方のご理解や様々な方のご意見あると思いますが、そういったところをしっかりと受け止めていただきつつ、理解を深めていただけるような丁寧な説明を今後も続けていただけるとありがたいと思います。以上です。
会長	いかがでしょうか。先行の統合例がありますよね。そういったところで、今のご質問に対して情報があれば。子どもの不安に対する解消とか、今までの統合に対する何かあれば教えていただければと思います。
事務局	今、委員の方から統合に向けて子どもの不安を解消していくべきではないかといったご意見をいただきました。これまでのどこの統合の事例でもそうですが、統合が決定したあかつきには、開校までのところで、子どもたちがそういった不安を覚えないように、事前交流という形で、全く知らない子たちが一緒になるということにならないように、例えば中津川の野外学習で一緒にキャンプファイヤーをやったりですとか、遠足を一緒の場所に行って関係校のお子さんが触れ合うといったようなことを事前の開校に向けた準備の中で、そういった不安がなくなるようにしっかりこれまでの学校でもしているところがございますし、今回3校という形での統合になりますので、より丁寧に子ども達、親御さんに不安がないような形でしっかりと説明の方をさせていただきながら進めていきたいと考えております。
事務局	補足の方させていただきます。どうしても統合となると、不安な方に気持ちがいきがちなんですけれども、場合によっては、新しい学校ができるという貴重な場面に立ち会えるというようなポジティブな考え方にもなるかなと思っています。例えば統合が決定しますと新しい学校の校舎がどんな校舎がいいかなということで、子ども達にこれまでの新しくできた学校を見てもらったりとか、それ以外にはこんな学校だといいなというようなワークショップを開いて、そういったいい学校を作りたいなという気持ちを持ってもらえるような形をとっています。それ以外にも、統合決定した後2年間で学校づくりをしていくんですが、その中

発言者	発 言
会長	で、校名を考えると、校章を応募するとかで、子ども達の心配の別なところで新しい学校への期待やワクワク感を持っていけるようになるといいかと、これまでの統合校でもそんな取り組みをさせていただいているところでは。 この審議会が、子どもいきいき学校づくりという事で、単純な統合とは違い、子ども同士がいきいきと学校づくりに参加していくという前提の議論がこれまでも進んできていると思いますので、そういう意味でのポジティブな方向での学校づくりと受け止めているということですのでよろしいでしょうか。 他いかがでしょうか。
委員	ありがとうございました。ご説明を聞かせていただきまして、学校の努力というものもこれから必要になるのかなと思いますけれども、学校が統合する事による子ども達の不安感を取り除くという点では、やはり地域の方の温かい見守りとか、あいさつで声をかけていただくとか、避暑休みというような場所があるということをお教えいただきましたので、そういったところでの地域のつながりというのもとても大事になってくるかなと思います。白水小学校の場所で統合になった時には、これまでの白水小学校の学区の方々、柴田小学校の学区の子ども達や千鳥小学校の学区の子ども達、近隣の子ども達が通るという事になる訳ですから、是非そういった温かい言葉とか見守りをしていただけたらありがたいかなと思います。もう1点、幼児教育の立場から申しますと、柴田小学校、千鳥小学校、白水小学校の近隣には、残念ながら公立の幼稚園はないんですけれども、私立の幼稚園、保育園があるかなと思います。幼児教育施設には、幼稚園、保育園、認定こども園という、いろいろな施設があるんですけれども、必ず小学校1年生に上がっていくということでは共通しています。幼児教育施設の関係者の方々にも協力といいますか声をかけていただいて、入学する学校のことについて、子ども達に期待を持たせていただけたらいいのではないかなと思っています。また、これまでは各小学校に分かれて行っていた幼稚園、保育園の子ども達が一緒に白水小学校に行けるんだねっていう、そういった気持ちも持てるのではないかなと思います。幼児教育関係者の中には、小学校と連携したい、交流したいのに遠くなるんじゃないかという意見もいただくかもしれませんが、今、幼稚園や保育者や認定こども園と小学校の接続ということがとても重視されていますけれども、決して交流活動をしなくて、接続できないということではなくて、小学校の教育を見通して、各園で教育・保育のあり方を充実させていくことがとても重要になります。こういった小学校と接続する学校種というか施設同士も関係者が繋がっていくと、統合に関する子ども達の不安も解消されていくのではないかな

発言者	発 言
会長 事務局 委員	なと思った次第でございます。以上でございます。 ありがとうございます。就学前の保育園や幼稚園との連携をここで繋げていくということで意見をいただいたということによろしいでしょうか。 今、地域の幼稚園、保育園との連携、接続といったところでのご意見をいただきました。我々統合案に関する様々な資料を地域の方、保護者の方に配布させていただいていますが、その中で3学区のところ、幼稚園、保育園が3か所4か所ございまして、保育園、幼稚園さんを通じてその親御さんにこういった情報をお伝えるという事も一つ大事じゃないのかなと思ひまして、実際に幼稚園、保育園を訪れまして、少しお話しをさせていただきながら資料を配布させていただいたということがございます。その際にお聞きした話ですと、小学校の方に幼稚園のお子さんをお連れして、運動会の様子を見たりですとか、一緒に連携したりといった、そんなお話を聞いているというところがございます。統合によって、少し場所が変わることによって、幼稚園、保育園から距離が変わることもあるかもわからないですけれども、そういった形で地域の保育園、幼稚園、学校の方が引き続き連携がとれるということが引き続き継続できるといいのかなかと思ひました。また、前段のところ、地域の方、様々な温かい見守り活動をしていただいているのではないかとご意見いただきました。おっしゃられる通りで、朝の通学の様子の見守りを非常に温かく見守っていただいている状況でございますし、学区によって様々な取り組みがされているところではあるんですが、子ども向けの本当に楽しいイベントを開催されて、たくさんのお子さんがみえて、すごく活発にイベントやられているといった状況もございます。本当に地域の方には頭が下がる思いと思っております。そういった普段からの地域の見守りも含めまして、子どものための地域のためのということで、活動の方は引き続き継続していただければいいのかなと感じているところがございます。 前回の第3回の審議会の方でも通学路の安全対策についてご意見の方述べさせていただきました。今回、別紙3の方にも通学路の安全対策という形で、歩道橋、こども110番の家、避暑休みスポットをマップに落とさせていただいて、全体がよく把握ができて、大変貴重な資料だなと思ひますし、保護者の方にも共有していくというのがとても大事ではないかと思ひます。ただ、110番の家、スポットをマップに落とすだけではいけないので、これを是非、開校に向けて、子ども達に一旦こういう場所に訪れるとか、やっぱり一回入ってみるということもすごく大事な取り組みではないかと思ひます。保護者の方と一緒に、夏休み期

発言者	発 言
委員	間中に 110 番の家に訪れてみようとか、スタンプラリーをやって、子ども達が問題があった時に入るのではなくて、普段何も無いときにも入れるよということもとても大事な取り組みではないかと思います。こういうのを校外授業の中でも取り組めていくといいのではないかと思います。また学区を超えて子ども達が遊ぶ範囲が広がると思うので、放課後といった視点もとても大事ではないかと思います。なので、確か小学校 3 年生くらいの時って自分たちの学区がどんなものがあるかなとか調べるような授業の取り組みがされていたかなと思うんです。その時に、学区交流というか学区の方たちも招いて、うちの学区にはこういう歴史があるんだよとか、そういったことを伝えていく。やっぱり町に興味をもっていくということがやはりそれが安全対策の方にもつながっていくのではないかと思います。子ども達にとっては、たくさんお友達ができて、遊ぶ範囲が広がるということは、とてもワクワク楽しい時間かなと思いますが、それを踏まえての対策ができるといいかなと思いました。あと、通学路の変更に伴いまして、是非警察等にも情報を共有して通学路が変更すると時間が変わったりということもございますし、小学校の話ではないですけれども、中学校でも今、登校時間を見直したりということも進んでいる話があるかと思いますので、是非、行政とも連携をとりながら見守り活動をしていただければいいかと思います。 みなさんの意見とほとんど重複した部分があるんですけれども、まず本当にわかりやすい資料を用意していただいているなと思いました。これを基に丁寧な説明を続けていただければと思います。というのは、どちらかというと、今回の統合は、子どもの不安よりも大人の不安の方が強いのかなという印象を持っています。子どもは本当にワクワクして新しい学校を楽しみにするっていう子たちがとても多いと思うんです。ただそれを周りの大人が、心配だ、大変だというようなオーラを出しすぎてしまうと、あらそんな心配なところに行くの、大変なところに行くのという気持ちに子ども達になってしまうかなと。前回、委員さんがおっしゃったことで、確か、子ども達が新しくできた学校に行くとしたら、その時にこの学校ができるまでにいろいろあって、嫌な感じだったんだって残ってしまうと、ここに入る子ども達も、嫌な気持ちを抱いてしまうというようなご意見をどなたかがおっしゃったと思うんですけれども、本当にその通りだなと思っていて、先ほど会長さんから、いきいきという楽しい学校をつくるためのものであるという事を確認されましたけれども、子ども達が今回の統合にプラスのイメージをもって、それぞれ学校がなくなっていくのは寂しい思いをするのは当たり前のことですし、本当にそうなんですけれども、それが今の子ども達、未来の子ども達のためによりよい学校を周りの大人たちが協力して作っていったんだよということが、子ども達に伝わるようなそういった働き

発言者	発 言
委員	かけみたいなものもあるといいかなと思いました。 本当に先ほど委員さんおっしゃられたように、非常にわかりやすい資料を今回作っていただきまして、ありがとうございます。本当にこれを基に説明をしていけば、段々みなさんわかってくださると思うんです。資料の 8 ページの別紙の意見交換会の参加者数ですね。これ見ると非常に少なすぎるような気がするんです。今後の予定として、平日の 18 時以降ですとか、土曜日、日曜日で開催するという風に書いてありますが、これを開催してもなかなか集まらないような気もするので、今後、学校の方に保護者が集まる機会ということになりますと、新年度の PTA 総会の時などはかなりの人数が集まると思うので、そういう保護者が集まっているところに教育委員会の方から出向くという考えはおありでしょうか。
会長	今までの所で、また今のご質問にもお答えがあれば事務局お願いします。
事務局	今、委員の方から意見交換会の参加者数が少なすぎるという事でご意見いただきました。ごもっともなことかなと考えております。今おっしゃられたように、学校の方に親御さんが集まれる PTA 総会ですとか様々な機会をとらえまして、我々の方が行くような形で一人でも多くの方にこういった情報を伝えながら、より統合に向けてご理解いただけるような取り組みをしてまいりたいと考えております。
事務局	今、いろんな会の参加者数が少ないというお話だったんですけれども、やっぱり、想像になってしまう部分もありますが、賛成だという気持ちだとか、反対だという気持ち、そういう思いを持った人がいる中で、関心の低い方がたくさんいらっしゃるというのが実際のところではないかと思っています。それで、先ほどの説明にあったように、お子さんが開校の時、どれくらいの年なのかという事も大事なんですけど、いろんな意見交換会とかそういった場にお越しになった保護者さんの声を聞いていますと、やっぱり一番気になるのは、自分の子どもが何年生の時にどういう状態になって、何年生の時に新校舎に行って、そういうのが具体的に知りたいという事が一番多く声として聞いたと。となると、やっぱりこれから情報提供のチラシとか案内を送る際に、今どれくらいの歳の子は、どこあたりに当たるのかという事が、明確に分かるような、そんな資料を提示していくことが、実際に関わりのある保護者の方に関心を高めることの一つのやり方ではないのかなと考えているところです。

発言者	発言
委員	未就学児の親の立場からよろしくお願いします。先ほどお話伺っておりまして、わかりやすい資料拝見したんですけれども、興味をもって読もうとすれば大変分かりやすい資料なんですけど、自分が例えば 0 歳、1 歳、2 歳の子どもを前にしてこの資料を見た時には、字が多い、読みにくい、数字が書いてある、社会（教科書）の読み取りかなとの気持ちになりました。細かく知りたいと思った時に読む資料としては大変わかりやすくいろいろな質問に答えてくれる資料だと思ったんですが、そもそも興味を持っている立場でない人にももっと興味を引くようなイラストが多いですとか、本当に必要な文字だけに限っているんですとか、それで知りたいと思った時には、こちらの資料についていう形になっていただけた方が良いのではないかと感じました。また、もし目の前に赤ちゃんを育てている立場だとしたら、資料をいただいた時点で読んで、学校統合するんだ。へえってなると思います。じゃあ意見交換会がありますよと言われて、行きますかと言われた時に、例えば周りの人に相談して、「行く？あるらしいけど。」「え。行かない行かない。」となった時に、本当に反対な気持ちとかがない限り、行かないんじゃないかなと思います。「え～。新しくなるんだね。ここにある写真みたいな、綺麗な学校になるんだね。ここに通えるんだね。」みたいな賛成な気持ちの方も、この中にはたくさんいらっしゃるんじゃないかという風に感じました。説明の資料は全世帯に配布されているわけですし、それはちょっとという意見を持っているからこそ意見交換会に行くんじゃないかなと考えた時には、参加者が意見交換会に少なかったことは、そんなに問題ではないんじゃないかなという風に感じてしまいました。もっと詳しく知りたい方は説明会に来られるんだよという場面だと思うんですけれども、賛成の気持ちも、もしかしたらたくさん隠れているんじゃないかなという風に思っています。ただ、不安を感じた時に、パッとそれを伝えるような窓口があったら嬉しいなと思いましたので、QRコード読み込んで、意見を書いてパッと送ると吸い上げてくれるよという場所があったら、小さい子ども達を育てている方々の気持ちも吸い上げやすいのではないかと考えております。 あと、全然関係なくもう 1 点ですが、前々回にもお話させていただいたんですが、やはり保護者として一番気になっていることが、昨今の暑さが気になっております。通学路が伸びたという事を聞いたときに、今までに遠足に行って亡くなった子なんていないじゃないですか。そう思うと、今まで通りだったから、2 キロ超えている学校とか 1.7 キロや 2 キロの学校がこれだけあるからというのは、あんまり保護者の安心に繋がらないのではと思いました。暑いつてなった時に、こういう手段がある、避暑休みスポットがあるとか、近くで大人が見守っているという事がこれだけあるよという事を、是非丁寧に説明していいいただいて、暑くても、毎日毎日涼しいネッククーラーを付けるとか、日傘を差すとかい

発言者	発 言
会長	ろいろな工夫をして体力をつけて行けるようになるんだなという風に、安心に繋がるような説明をしていただけたらなと思っております。 よろしいでしょうか。今日は、建設的な意見が結構出ているので、事務局の方でちゃんと引き取っていただくと、それこそナゴヤ学びのコンパスに繋がる、今後の学校づくりの参考になるご意見がたくさん出ているなと思いますので、反映できるといいなと今考えておりますけれども。いかがでしょうか。他ご意見とかございますでしょうか。
委員	今、通学路の話が出ていたものですから関連してお話させていただきますけれども。私の経験からしますと、遠いところから通った子の方が健康で丈夫に育つというような経験を持っておりますので、今回の距離の間隔を見てみますと、千鳥小学校の付近の子、柴田小学校の周辺の子は、通学距離が伸びて、健康な子に育つんだと私は受け取りました。ですから、あとは白水小学校の周辺に住んでいる子が、若干運動不足になるのかなという風に思いますので、それらの子には、是非運動部とかに入って身体を鍛えてほしいなと思いますので、うまい誘導方法があったらいいのかなと思いました。遠い方がいいかなと私は思っております。先ほども話が出ていたように、暑いときに逃げ込むような場所とかを増やす、110 番の家でもいいから暑くて困ったら寄ってねというような指導をしていただいた方が良いいのかなと思いました。
委員	この今の話に合うかどうかわかりませんが、学校には評議員制度がありますよね。だから評議員制度は学区が入っている。年度が始まってから動いているんですけども、このような問題があるところには、評議員の交流といったらおかしいですが、関連の学校の評議員をだれか選んでお互いを話し合わせるという、学校の中でそういったことをやるというようなことをしていただいたら、もうちょっと浸透するのではないかなと思います。我々、どちらかといったら、先生が5年も6年もおるとは思っておりません。みんな転勤されますから。だからそういう事を考えれば、子ども達、先生変わったと、成人式の時には子ども達すごく喜びますから。再会するときは。そういった意味合いでは、統合するときに環境が変わるのも良しかないかなと思いました。私としては、評議員制度を少し制度を変えていただいて有効にやっていただいたら良いいかなと思いますけれども。ひとつ検討お願いいたします。
会長	いかがでしょうか。今の学校の役員とかの交流を含めての何か事務局で見通しとかありますでしょうか。
事務局	今、委員おしゃっていただいたように、各学校の方で学校評議員制度

発言者	発 言
事務局	ということで、地域の方ですとか保護者の方が入っていただいて様々ご意見いただいているというところがございますが、名古屋の方では、また来年度からコミュニティスクールという事で、より子ども達を地域の方が見守っていただいて、様々な課題を解決していただけるような、そのような仕組みを進めていきたいと考えております。この学校統合につきましても様々な声があると思いますが、先ほど来話が出ていますように、ポジティブに考えていくという事も大切な事かなと考えておりますので、統合決定したあかつきには、そういった学校のコミュニティスクールですとか、そういった枠組みの中で安全対策等々あるかと思いますが、前向きな形で3つの学校の子ども達がいきいきと輝けるような子になっていけるような形で地域の方、保護者の方からもご意見いただいていたければいい取り組みを、開校に向けて準備がしていけるといいのかと感じた次第でございます。 統合が決定しますと、開校までのところで2年間かけて新しい学校づくり懇談会という会議を開いていきます。その中の構成メンバーには学校関係者も入りますけれども、それ以外に保護者の代表の方、それぞれの学区の地域の代表の方も入っていただきます。今ちょうど千種区で内山小と大和小の統合に向けて新しい学校づくり懇談会を開いているんですけれども、その中でも様々な地域の方から意見をいただくと共に、新しい学校をこんな風な学校にしていきたいということで、新しい学校のランドデザインだとか、教育目標のたたき台をその中でお示しをさせていただいて意見をもらいながら手直しをしていくという事を、そういった形でいろんなご意見をいただくという事もあります。何にしても、学校統合で開校するまでは、まだ新しい学校が出来上がっていないというところなので、地域のお声とか保護者のお声とかをそういった場を上手く活用しながら吸い取っていくことができると考えております。
会長	はい。ありがとうございました。いかがでしょうか。ご意見やご質問、委員の皆さんから付け加えがございますでしょうか。 よろしいでしょうか。 それでは、前回の第3回審議会において、地域からの反対のご意見の説明、それを踏まえての委員の皆さまからのご意見をいただきました。それらについて、今回の第4回審議会にて、教育委員会の回答という考えが示されたところです。 また、委員の皆さまとしては、子どもたちの教育環境をより良くしていくため、統合の取り組み自体について必要であると捉えていただ

発言者	発 言
事務局	いてご意見いただいているように思います。 ただ、ご意見としてあがっている安全対策等についても非常に重要なものであると考えておりますので、しっかり対応するようにという旨を盛り込んだ答申案を作成し、ご意見を踏まえて、こういう点を留意して、進めていってくださいという答申案を作成して、次回の審議会にて、私から提示させていただければと考えておりますが、いかがでしょうか。今日ではなく、次回の審議会で答申案をご提示させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。 (異議なし) それでは、そのように進めさせていただきます。 ありがとうございました。 最後に、次第2「その他」として、委員の皆様からご意見がございましたら、お願いいたします。 特にないようですので、以上をもちまして、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会を終了いたします。皆様ありがとうございました。それでは事務局にお返しいたします。 はい。会長ありがとうございました。委員の皆様、本日はお忙しい中、大変熱心なご審議をいただきまして誠にありがとうございました。傍聴者の方はここでご退室をお願いします。